

令和6年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	3年	教 科 書	歴 史（新しい歴史）東京書籍 公 民（新しい公民）東京書籍 地 図 帳（中学校社会科地図）帝国	歴史 学び考える歴史資料（浜島書店） 公民 新しい公民（浜島書店） 問題集 歴史,公民（新学社,明治図書）
--------	----	-------------	---	---

1 学習到達目標

3年生では、歴史的分野と公民的分野の学習をします。

社会科の学習到達目標は、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家、社会の形成者として必要な力を身に付けることです。将来皆さんは主権者として社会に出ます。社会の様々な事柄を読み取ったり、たくさんの資料を様々な角度から分析したりして、公正に判断する力、課題の解決策を構想する力を身に付けてほしいと考えています。

社会科の学習を通して、自分自身が今まで身に付けた「ものの見方や考え方」を活用し、社会に関わり、課題を解決しようとする姿勢を大切にしてください。

2 学習方法

社会科の学習の目的は、細かいことがらをくり返し反復したり、暗記したりすることではなく、知識を関連づけたり、資料を活用したりして、物事の本質を追究することです。また、知識や資料を活用し、社会にみられる様々な課題に関心を持ち、よりよい社会の実現を視野に解決策を構想しようとする態度が重要です。

ワークを繰り返し解き基礎知識の定着を図るとともに、新聞やインターネットなどを通して、現在の社会で起きている出来事への関心を高めてほしいと思います。

3 教師からメッセージ

「社会科は、どうせ暗記科目だからテスト前に集中して覚えれば何とかなる」とか「歴史や地理そのものは好きなのだけれど、どうも成績が思ったより低い」、「社会科の勉強はかなり時間をかけているが、点数があまりよくない」という人が結構います。どうしてなのでしょう。そこで、地理的分野や歴史的分野をこれから学習するに当たって、留意しておくことを次に示します。

①自分の理解状態をつかむこと。

学習する時に大切なことは、いつも「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせる。

②学習したことどうしの関係をつかむこと。

学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。

③勉強がおもしろくなるような工夫をすること。

テレビのニュース、新聞などにできるだけなじんで、そのような話題を家族と話たりしましょう。社会の動きを知ることは、自分が将来、社会の中で何をしたいかを考える上でとても大切なことです。

4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試 験	評 価 観 点	評価の場面・方法
4	<歴史的分野> 第一次世界大戦と日本	中間試験	主 体的 に	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの記入状況 ・授業態度（発表等の積極性、忘れ物の状況） ・提出物の状況 ・学習課題への取り組み方
5	世界恐慌と日本の中国侵略	期末試験	学 習 に 取 り 組 む 態 度	
6	第二次世界大戦と日本 戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
7	<公民的分野> 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方		○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。 ・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ・未到達な内容についてどれだけ努力できたか	
9	人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	中間試験	○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。 ・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 ・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 ・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 ・思考を問う問題を解くことができたか。	
10	現代の民主政治 国の政治の仕組み		○我が国の国土と歴史など社会的事象に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるている。 ・資料の活用方法を身に付けることができたか。 ・さまざまな統計・歴史資料や地図	
11	地方自治と私たち 消費生活と地方自治	期末試験	知識 ・ 技 能	
12	生産と労働 市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	学年末試験	・資料を活用する方法を身に付けることができたか。	
1	国際社会の仕組み		・授業内の学習課題への取り組	

2	さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本		などを読みとることができたか。 ・調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。 ・調査した内容を工夫してまとめることができたか。 ・資料を読みとる問題を解くことができたか。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。	み
3	より良い社会を目指して	次年度		・定期テスト ・小テスト

4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している

B→おおむね満足している

C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の3つの観点のA～Cの組み合わせにより、「教科として1～5の評定がつきます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。